

ギリシャ・ドバイ経済視察報告

7月6日(金)～14日(土)

參加人員：32名

經濟貿易視察団を

幣所国際交流委員会（志摩英和委員長）では、平成19年7月6日から7月14日まで、アテネ市およびドバイ市への経済貿易視察の一環として代表团（岸脇淳介団長）32名を派遣しました。ギリシャ共和国は、面積が13万平方キロメートルと日本の約3分の1で、人口は1,100人、

7月9日午前10時、アテネ商工会議所を訪問した代表団32名は、ピータ国際委員長から熱烈な歓迎を受け、同所8階国際会議場で、約2時間にわたり意見・情報交換をおこないました。

アテネ商工会議所代表
との意見交換

古代ギリシャの象徴は、何と言つても、アテネのアクロポリス(城丘)のパルテノン神殿であります。女神アテネの神殿で、ペルシャ戦争(紀元前490年から紀元前449年)の時に破壊され、紀元前420年に再建されたのですが、アテネが、都市国家として、政治、商業、建築の分野で頂点に達したことの象徴であります。



進化し続けるバイクの
現在(いま)と未来

主要産業は、海運、観光、農業、軽工業などで、経済成長率は3・3%、失業率は9・0%と高く、総貿易額では輸出305億ユーロ、輸入441億ユーロと貿易赤字が続いています。二国間関係は伝統的に友好関係が保たれており、貿易面では恒常に日本から輸入超過の状態が続いている。主要貿易品目は、日本への輸出が、石油(42・1%)、まぐろ(7・4%)、綿(6・0%)など、日本からの輸出が、乗用車(48・0%)、通信機器(8・4%)、



▲経済視察団32名アテネ会議所にて

丁未歷史環境

保全地区を視察

た。そのため 私たちは10年ほど前から、「世界を動かすなら自分を動かしなさい。」と言う有名なソクラテスの言葉に習い、世界の各国を訪問している。今回の訪問目的は、アテネは世界の政治経済文化のすべての基礎を築かれた歴史的な都市であり、オリンピック発祥の地として有名。そして、今なお、世界に大きな影響を残しているアテネを訪問し、今後、世界的な人口急増期を迎える中で、基盤産業である海運や観光、農業の重要性について学びたいと述べ、意見交換を行ないました。

UAE（アラブ首長国連邦）では、経済中心である国際ビジネス都市ドバイにおいて、数々の破格の巨大プロジェクトが進行されています。原油埋蔵量が現状のスピートで精製していく場合、あと25年～30年で枯渇すると予想される為、UAE政府は、今後の国家事業の中核としていくつの巨大プロジェクトを着工させ、世界一の工事が実現し急スピードでその工事が実現中東のニューヨークと言わ



▲未来のドバイ(椰子の木型のアイランド、世界地図を散りばめたリゾート島)

古代ギリシャの文明や哲学、政治形態は、ヨーロッパ文明の原点であります。近代文明において、世界で最も発達した地域の源となつた点で、ギリシャ文明の発祥に興味を持たずには、おれません。古代文明の一つであるエジプト文明の北上に、同じくメソポタミア文明の西方に存在したギリシャは、当時から双方の進んだ文明の影響を受けながら、徐々に古代ギリシャ文明が開花したと考えら



▲ハニシュドバイ(世界一の超高層タワー)

トが進行されています。原油埋蔵量が現状のスピートで精製されていく場合、あと25年～30年で枯渇すると想される為、U A E 政府は、今後の国家事業の中核としていくつもの巨大プロジェクトを着工させ、世界一の国を目指し急スピードでその工事が実現中東のニューヨークと言わ



▲未来のドバイ(椰子の木型のアイランド、世界地図を散りばめたリゾート島)

◀パルテノン神殿

来てしまったかのように
てしまう、大胆でユニー
クな高級ホテル、アラビア
浮かぶ3つの椰子の木型
のラグンド、世界地図を散
らしたリゾート島、世界初
底ホテル、世界一の超
タワーなど、数々の巨大
プロジェクトが進行されてい